

生産と貿易・流通で 成り立つ私たちの暮らし

<P.10>

5 パンが食卓にのぼるまで

〈問題 12〉

小麦は種子の状態、船によって日本に運ばれてきます。船で運ぶことは、飛行機や鉄道とくらべてどんなよいことがありますか。思いつくものを書きましょう。

<P.11>

〈問題 13〉

下の①～④の絵や写真は、「パンが食卓にのぼるまで」の流れ図のア～エのどれをあらわす絵や写真でしょうか。□にア～エの記号を書きましょう。

〈問題 14〉

パンが食卓に届くまでには、どのような人たちが関わっていますか。できるだけたくさん書きましょう。

授業の感想をまとめよう

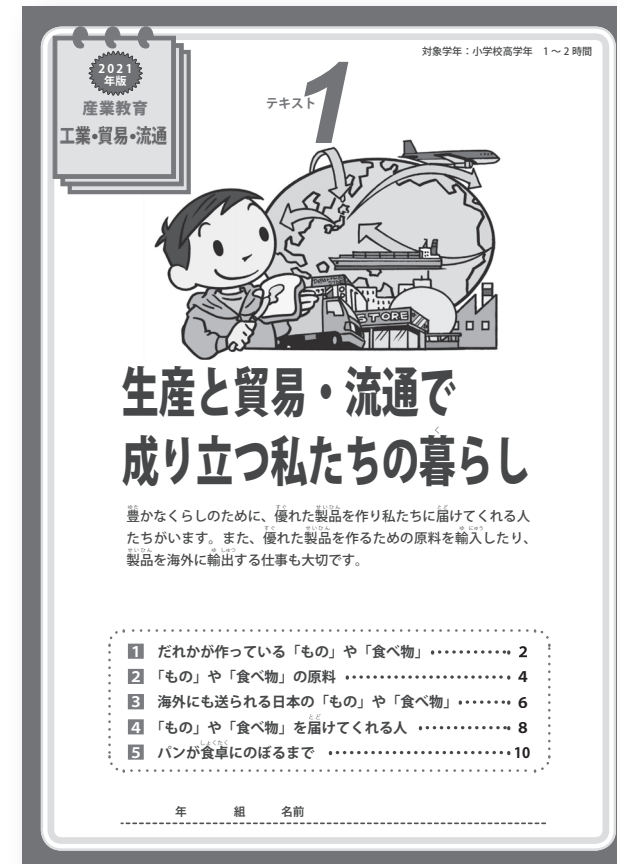
授業の感想をまとめましょう。

- ・写真をヒントにする。
- ・意見がなかなか出ない場合は、周りの友だちと相談させたり、話し合わせたりしてもよい。
- ・船で運ぶ利点は、「もっとくわしく」に詳しく書かれている。

- ・流れ図に書かれている言葉を確認してからやるとよい。確認は、教師が言った言葉を、指で押さえさせ、言わせるというやり方がある。

- ・〈問題 13〉の流れ図を参考にさせてもよい。

- ・テキストの最後にある、授業の感想を書かせて終わる。
- ・授業の感想は、学期末の評価としても使える。



1. 対象学年：小学校高学年（1～2時間）
2. ねらい：身近な例を挙げて輸入や輸出などを考えさせ、流通に感心を持たせる。
3. 進め方：テキストの通りに進める。テキストの問題を読み、子どもたちに答えさせていく形である。テキストを1枚ずつコピーして配布していく形で進めても良い。

主な発問・指示

<P.2>

1 だれかが作っている「もの」や「食べ物」

〈問題1〉

下のうすい文字をなぞりましょう。また、部屋の中にある工業製品を○で囲みましょう

〈問題2〉

次のものが作られるようすをしめす絵を線で結びましょう

<P.3>

〈問題3〉

下のうすい文字をなぞりましょう。また、工業製品とそれを作る原材料をすべて線で結びましょう。

<P.4>

2 「もの」や「食べ物」の原料

〈問題4〉

パンは小麦を材料にして作られます。この他に、小麦を材料にして作られるものをできるだけたくさん書きましょう。

〈問題5〉

円グラフを見て、次の問いに答えましょう。

指導上の問題点

- ・教師が問題を読む。
- ・赤鉛筆で工業製品に丸をさせる。3つ見つけたら教師のところにもってこさせて、確認をする。
- ・もってきた子に、何を丸させたのかを板書させると、まだ見つけていない子へのフォローになる。

- ・定規を使って線を引かせる。
- ・例示として、パンとパン工場の絵が結んである。

- ・定規を使って線を引かせる。
- ・ページ下の「もっとくわしく」は、早く終わった子に読ませたり、教師が読んだりするとよい。

- ・右図のイラストをヒントに考えさせる。

- ・「題名は何ですか。鉛筆で囲んでごらん下さい」などと指示をし、問題の答えを、一度、確認してから書かせるというステップもある。
- ・(3)で作成年度を確認することにより、資料の信ぴょう性を判断することができる。

<P.5>

〈問題6〉

下のうすい文字をなぞりましょう。また、グラフを見て次の問いに答えましょう。

〈問題7〉

次の問いに答えましょう。

<P.6>

3 海外にも送られる日本の「もの」や「食べ物」

〈問題8〉

次の問いに答えましょう。

<P.7>

〈問題9〉

次の問いに答えましょう。

<P.8>

4 「もの」や「食べ物」を届けてくれる人

〈問題10〉

あなたは、「もの」や「食べ物」をどこで買いますか。思いつくだけ書きましょう。

〈問題11〉

うすい文字をなぞりましょう。また、下の図を見て、次の問いに答えましょう。

- ・(2)で出典を確認することにより、資料の信ぴょう性を判断することができる。
- ・(5)の変化は、折れ線グラフの最初(73%の点)と最後の点(38%の点)を結ばせると一目で分かる。

- ・(1)なぞり終わったら、本文と図の文を読ませる。

- ・(1)は、なぞり終わったら、本文と図の文を読ませる。
- ・(2)の輸出品は、どのようなものなのかイメージしづらいため、具体的にどのようなものかを話すことよい。
例) 輸送用機器→いわゆる乗り物のこと。自動車や造船など。

- ・復習のために、「輸入とは何か」「輸出とは何か」を確認する。
- ・「もっとくわしく」を読み、日本の貿易の特徴を考えさせる。

- ・意見がなかなか出ない場合は、周りの友だちと相談させたり、話し合わせたりしてもよい。
- ・発表の時、書いていないことを友だちが言ったら、付け足して書くようにさせると、情報の共有ができる。
- ・「もっとくわしく」を読んだあと、実物を見せると興味を引く。実際にもってこさせるとさらによい。

- ・図を参考にさせながら(1)～(3)を書かせる。
- ・(4)は、赤鉛筆で囲ませたあと、具体的にどんなものがあるのかを書かせるとイメージがわく。
例) 農業→農家の○○さん
コンビニエンスストア→家の近くのコンビニ